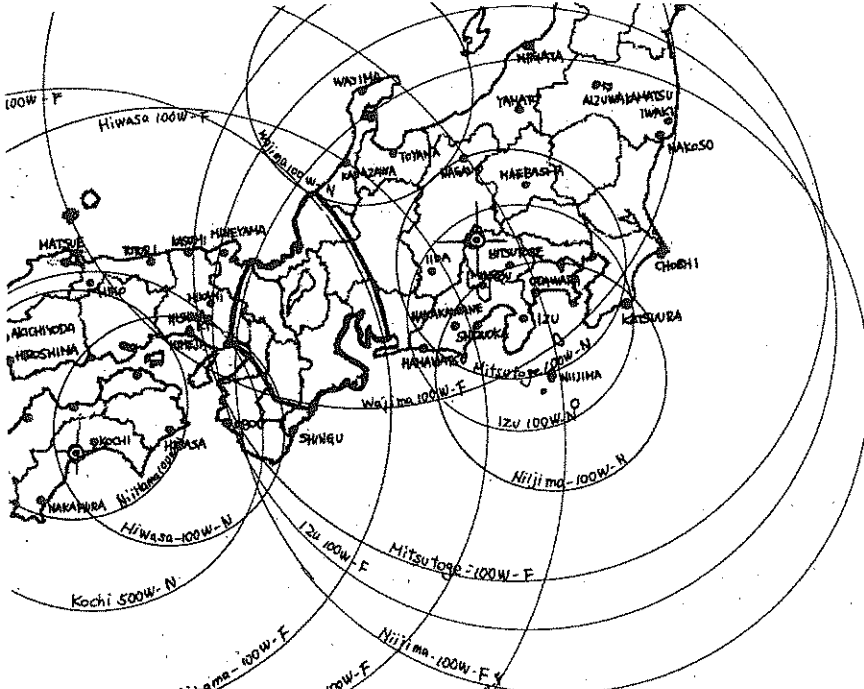


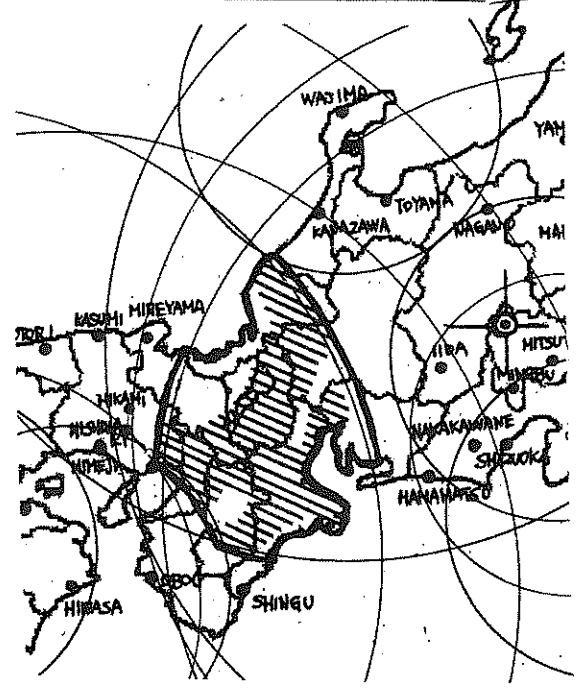
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 近畿圏中心領域大型地殻地震の可能性推定前兆 続報



No.1778前兆 (最近の前兆のみで推定した) 推定領域作図



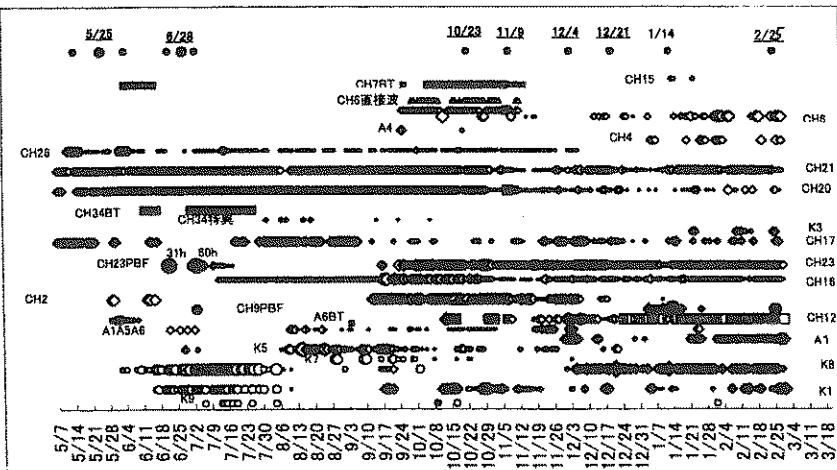
左の推定領域図に至み速度小領域を斜線で示した参考図 (震央=斜線域内の可能性考え易い)

観測装置 推定影響局 (下線局は上図作成使用局)

- CH04 輪島100w
- CH06 伊豆100w 新居浜100w
- CH09 中川根100w 小田原100w 御坊100w 日野100w
- CH12 飯田100w 新島100w
- CH16 飯田100w 新島100w
- CH17 伊豆100w 新居浜100w
- CH20 飯田100w 日和佐100w
- CH21 飯田100w 新島100w
- A1 X舞鶴100w 高知500w
- K1 X西脇100w 新居浜100w X氷上100w
- K3 伊豆100w
- K8 三峠100w

No.1778=長期継続特殊前兆の続報です。本年に入ってから No.1778前兆認識地震前兆のみで、推定領域を再度検討してみました。左記は現在観測されているNo.1778認識前兆と辻褃の合う推定影響局です。輪島100w 三峠100w 伊豆100w 新居浜100w 高知500w の各影響局は当該局以外考え難いため、確定。この各局からの前兆出現領域ドーナツ円重複領域に対し、複数影響局がある観測装置を検討しますと、飯田と新島が影響局の観測装置は新島局を選んだ方が推定領域が広がります。飯田局影響が決定できないため、推定領域を狭くするのは賢明ではありません。従って上図の場合は新島局で作図致しました。その結果、以前からの推定領域より若干、岐阜県領域で東側に広がりました。CH9は上記全影響局で辻褃が合うため、決定は困難。

- 推定領域: 上図太線領域内 (斜線域参考)
- 推定規模: M7.9 ± 0.5 (浅い地殻地震)
- 推定時期: 早い場合= 4月29日 ± 5
※今後の前兆終息観測で修正予定
その他の可能性=今後の変化次第
- 推定発生時刻: 午前9時 ± 2 or 午後6時 ± 2



前兆は左図のとおり。CH16, 21 の前兆レベル低下中。K8の糸状特異は、12/21-(11)-1/1-(9)-1/10-(8)-1/18-(11)-1/29-(12)-2/10-(7)-2/17-(7)-2/24 (各小ピーク認識日 ()内は間隔日数) より、平均周期 = 9.3 日 周期性の無い小ピーク=2/3 BTの周期性経験則を同様に適用すると、2/3+(9.3×9)=4/27±3 が計算できます。3月11日頃より前兆終息が確認できるが慎重に観測中です。続報にご注意下さい。

2/25中心にCH9-PBF 観測 (2/25±小極大の可能性有)